

上原六四郎 りくしやう 物理學・音響學者、工作教育家。嘉永元年十一月  
二日江戸下谷生れ、大正二年四月一日没（七八一―一九三三）。鎌倉人。號  
虛河。明治二年開成所に入りフランク人語を學ぶ。八年上宮學校出任、  
十五年音樂取調掛となり、伊澤修二と共々音樂教育の基礎を作った。  
東京音樂學校教授として音樂學を講じ、高等師範學校では手工料を擔  
當して工作教育の先驅者としても知られる。一方荒木古童門の尺八の  
名字で、尺八譜を改良、野附形式を創案した。また西南役の頃聲氣球  
を製作、自ら乗りて飛揚し、更に二輪の自轉車を乗り回して道行く人  
の心を惹いてたといふ。

著書に『俗樂旋律考』（明治二十八年刊。のち、昭和十一年十一月二十  
日岩波書店「岩波文庫」）等。

